

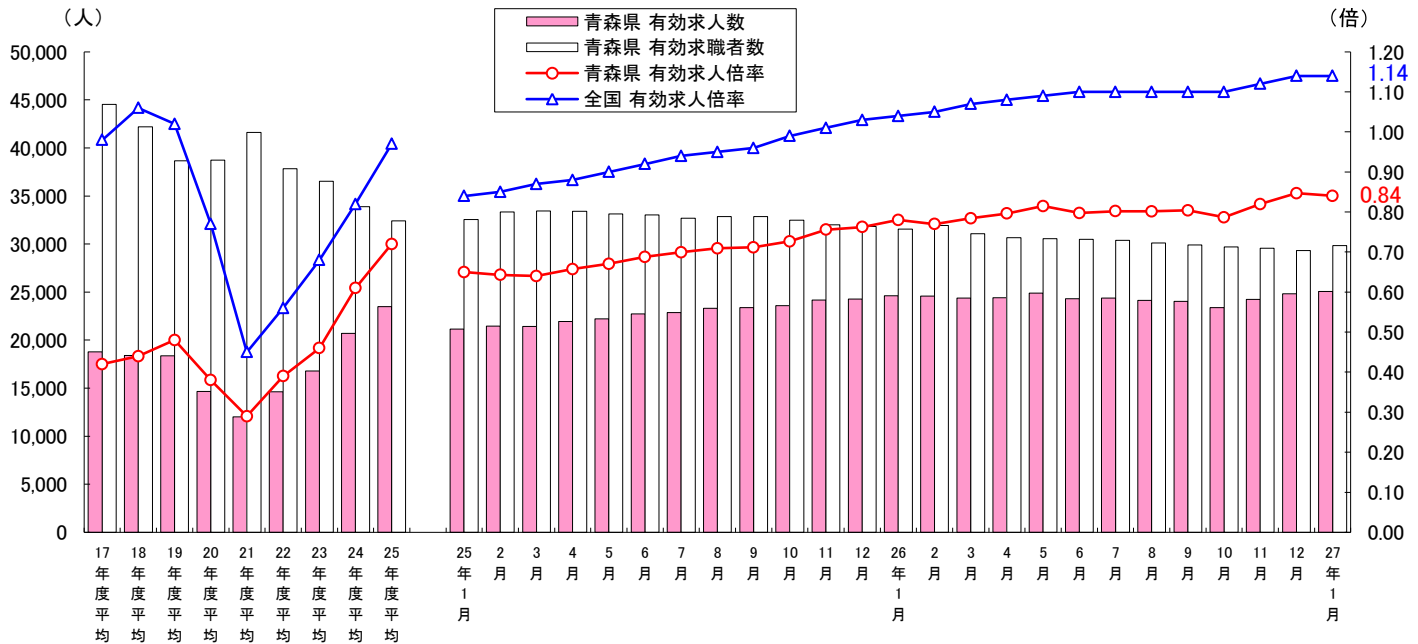
# 最近の雇用情勢について

(平成27年1月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

1月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.0%増加の25,070人、有効求職者数(同)は1.8%増加の29,840人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント低下の0.84倍となった。

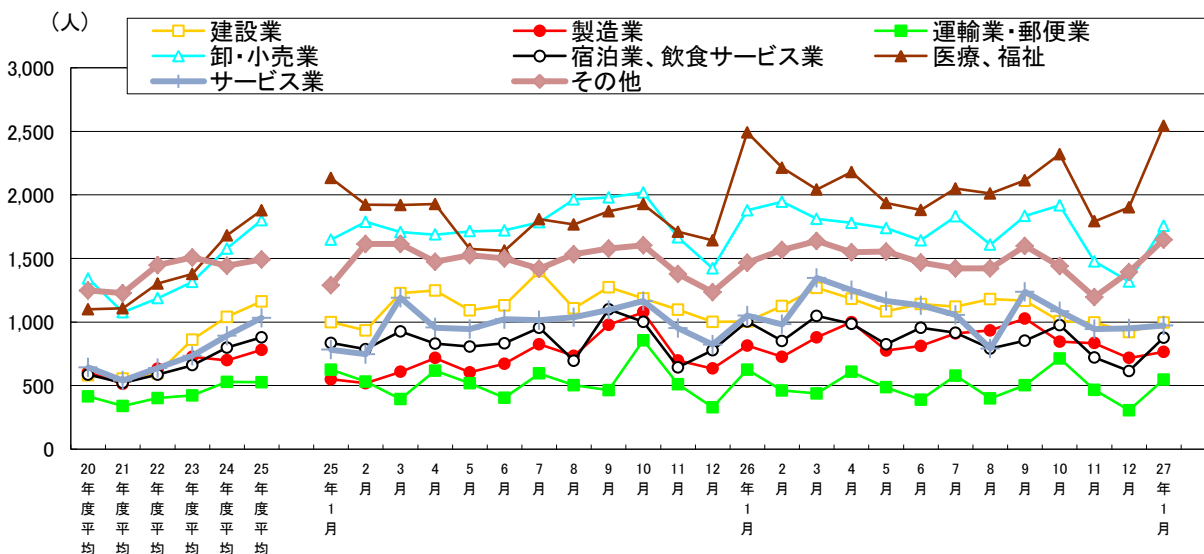


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

1月の新規求人(原数値)は前年同月比2.2%(224人)減少、前月比24.5%(1,988人)増加の10,108人。

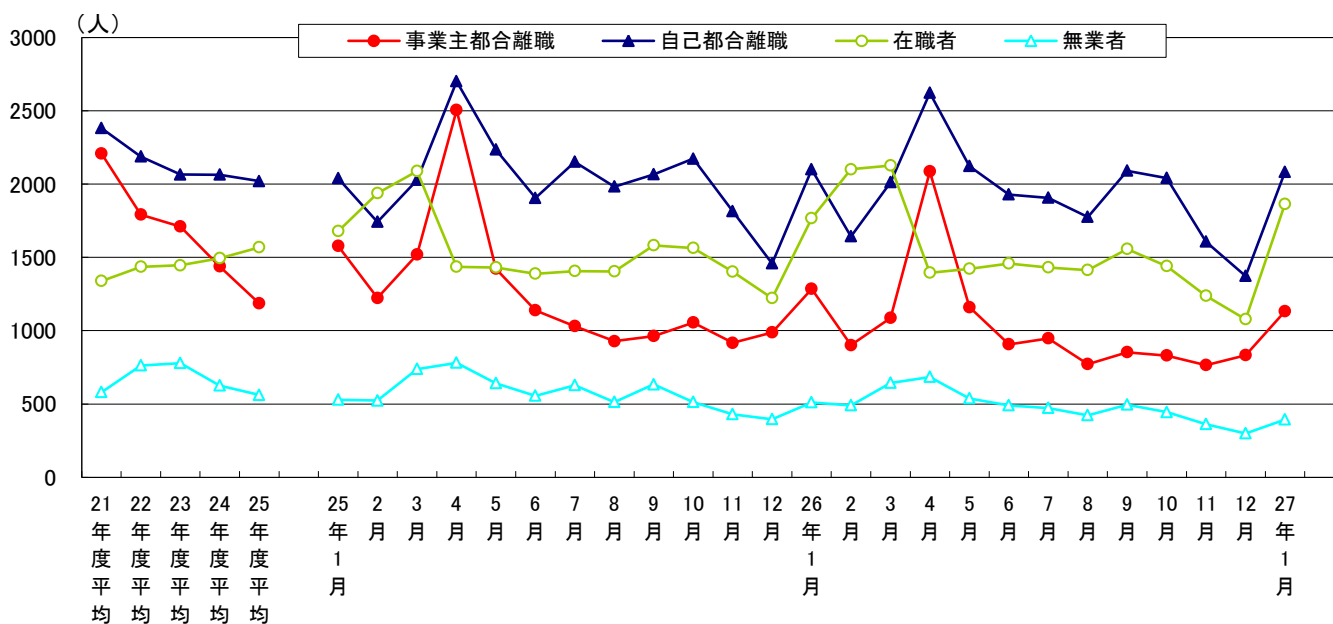
産業別に前年同月と比較すると、情報通信業、医療、福祉、複合サービス事業、公務・その他等で増加し、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、サービス業等では減少となった。製造業では、木材・木製品、家具・装備品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業等で増加し、食品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

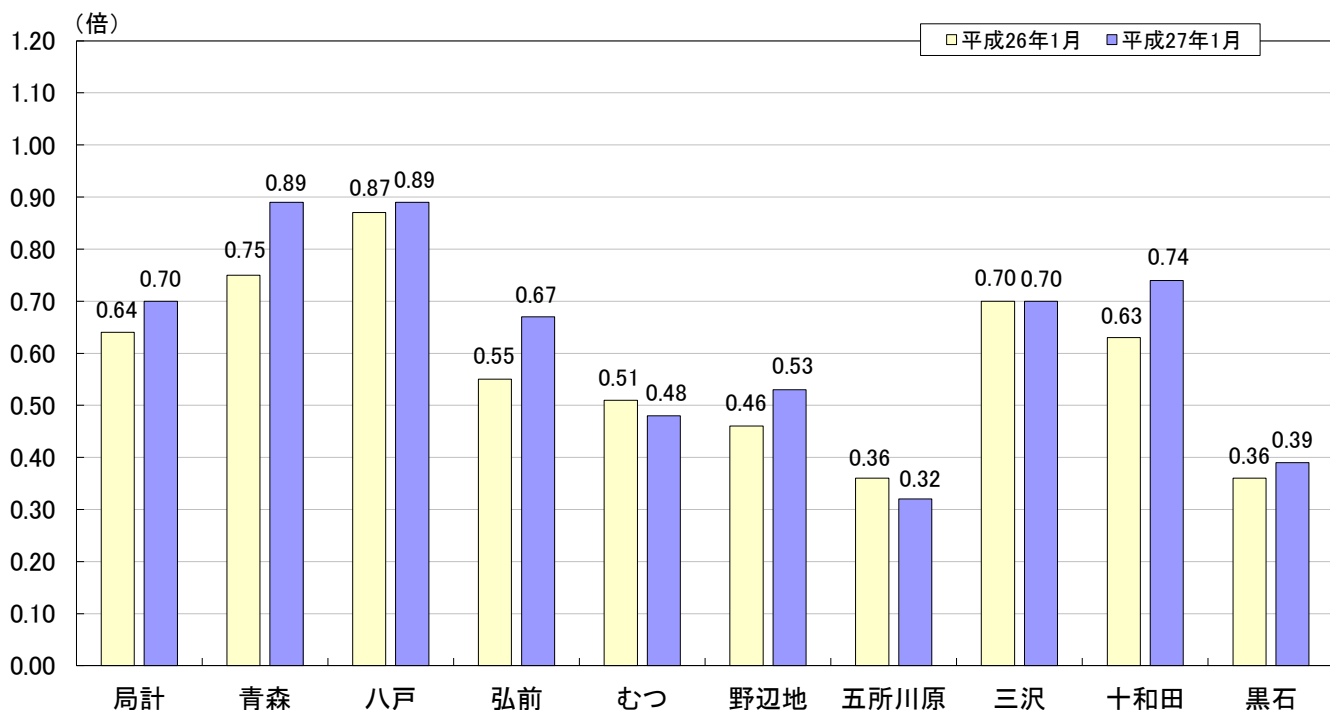
### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

1月の新規求職者数は、前年同月比3.1% (180人)減少、前月比51.7% (1,908人)増加の5,595人。  
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は5.5% (97人)増加し、離職者は4.5% (159人)の減少、無業者も23.1% (118人)の減少となった。  
 離職理由でみると、事業主都合は11.9% (153人)の減少、自己都合も0.8% (17人)の減少となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

1月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.70倍となり、前年同月を0.06ポイント上回った。  
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

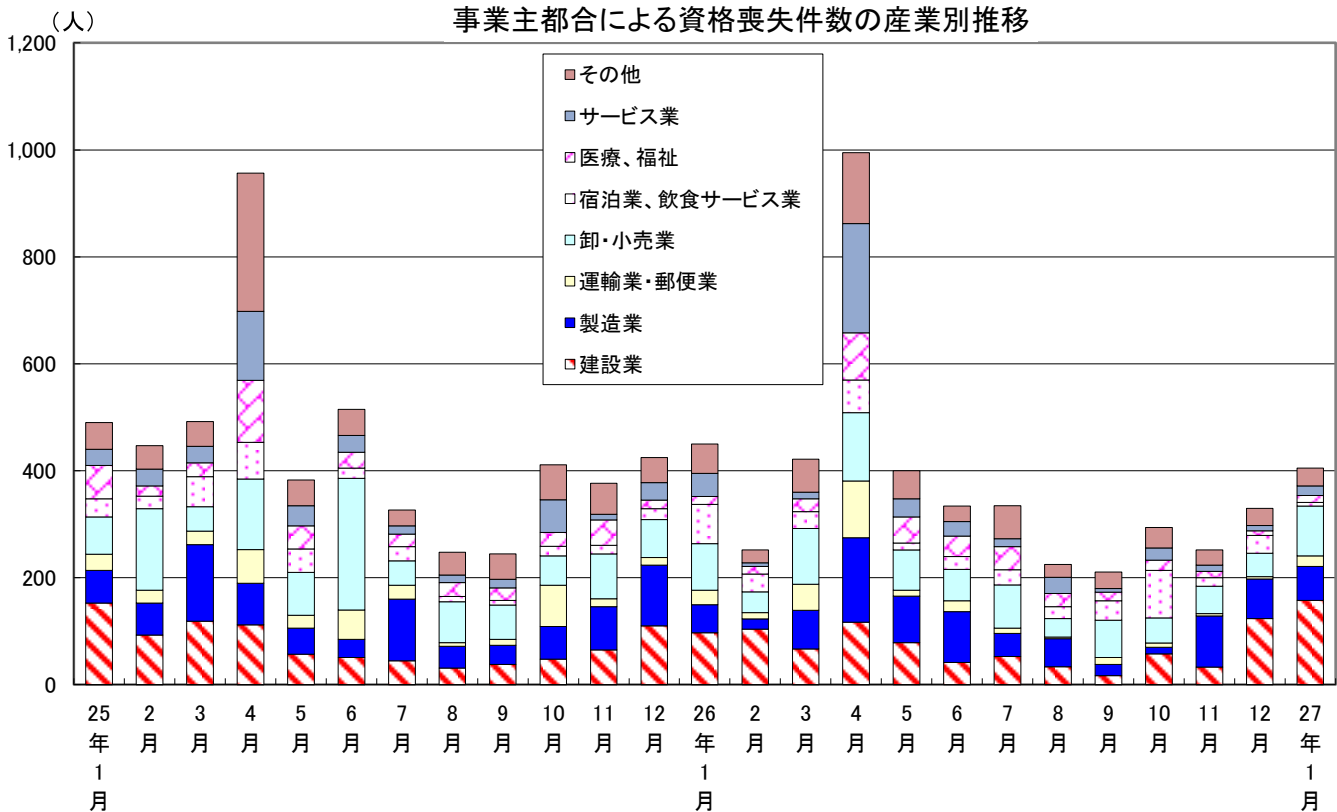
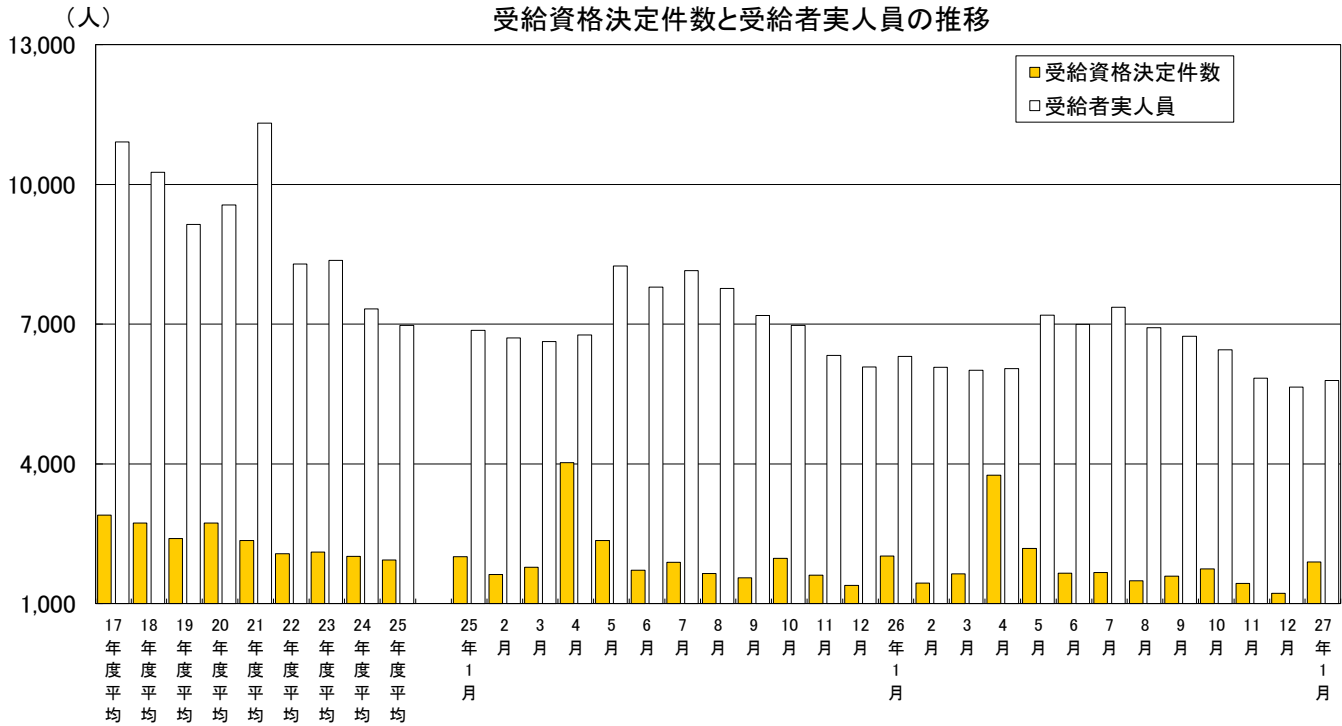


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	33,179	8,272	6,771	5,733	1,932	1,464	3,532	2,005	1,558	1,912
有効求人数	23,270	7,333	5,994	3,836	929	770	1,113	1,410	1,148	737

## V 雇用保険の状況

1月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比8.1%（513人）減少、前月比では2.5%（141人）増加の5,792人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比6.2%（126件）減少、前月比では55.2%（674件）増加の1,896件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比10.0%（45人）減少、前月比22.7%（75人）増加の405人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。